

水文部会 一活動報告一

1. 水文部会セミナー

日時： 9月4日 19:00～

場所： 千葉工業大学 津田沼キャンパス 5号館6階 大会議室

講演者： 静岡大学 防災総合センター副センター長・准教授 牛山素行

タイトル： 「最近の日本各地の豪雨災害から考える事」

参加者： 15名

要旨（浅沼）：

2. 水文部会

日時： 9/5(木) 12:00-12:45

場所： 日本大学生産工学部津田沼キャンパス39号館307教室

参加者： 8名

議事：

1. 中川部会員より、「第14回地下環境水文学に関する研究集会」（日時：10/5（土）14:00ー，場所：キャンパスイノベーションセンター）について，案内があった

2. 浅沼部会長より，前日に千葉工業大学で開かれたセミナーについて，報告があった

3. 浅沼部会長より，水文研究集会（日時：10/14-15，場所：阿武隈川中一下流部）について，案内があった。

4. 立川水工学委員会幹事長から，水工学論文集の諸問題（投稿料値上げ，）について，説明があった。

環境水理部会報告

部会長 角(京大防災研)

1. 部会開催(H25.9.6)

- ・新メンバーを確認(学15, 国・独法6, 民8)
- ・来年度の研究集会を(独)土木研究所自然共生センター(岐阜)で開催予定.
- ・来年度の水シンポジウム長崎を部会で担当することを確認

2. 教科書作成WG

- ・10月中 各章担当者から最終版の提出
- ・11月中 全体の修正
- ・12/1 土木学会へ提出(予定)

3. 樹林化WG

環境水理部会・河川部会共催 **樹林化ワークショップ** 2013 in 東京

※ 樹林化WGの**キックオフミーティング**を兼ねる.

※【**樹林化現象の類型化**】に向けて要点の洗出しを目論む.

日 時: 2013年**11月15日(金)~16日(土)**

場 所: 東京大学工学部1号館14号講義室

参加予定者:

清水義彦先生(群馬大学)・前野詩朗先生(岡山大学) (ご講演)

河川技術シンポジウムで樹林化アンケートにご回答頂いたみなさん

環境水理部会・河川部会のワーキングメンバー

4. 第4回流域圏シンポジウム 開催

タイトル:「流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題」
～陸域から内湾(湖沼)までを俯瞰的に理解する～
第四回:漂流・漂着ゴミー研究の最前線と今後の課題

主催:土木学会水工学委員会環境水理部会／水環境学会ノンポイント汚染研究委員会／土木学会海岸工学委員会／沿岸環境関連学会連絡協議会

日時:2013年12月12日(木) 13:00～17:40

場所:首都大秋葉原キャンパス・ダイビル12F

定員:80名

参加費:無料

プログラム

- ・ 13:00～13:05 開会挨拶 角(環境水理部会長・京都大学)
- ・ 13:05～13:10 趣旨説明 日向博文(国総研)

- ・ **PART1 研究最前線—化学汚染** 司会:赤松(山口大学)
- ・ 13:10～13:35 「化学汚染物質の輸送媒体としての漂流ゴミ/レジンペレットラッチ」
高田(東京農工大)
- ・ 13:35～14:00 「化学汚染物質の輸送媒体としての漂流ゴミ/重金属」中島(高知県梶原町)

- ・ **PART2 研究最前線—輸送動態** 司会:二瓶(東京理科大学)
- ・ 14:10～14:35 「東アジア海域における海ゴミ輸送の実態」加古(鹿大)
- ・ 14:35～15:00 「河川からの沿岸へのフラックス」 二瓶(東京理科大)
- ・ 15:00～15:25 「出水時における流木輸送」 矢野(九州大学)
- ・ 15:25～15:50 「漂着ゴミの海岸での滞留時間」 片岡(国総研)

- ・ **PART3 今後の課題と方針** 司会:日向(国総研)
- ・ 16:00～16:25 「漂流漂着ゴミ対策—国内・国際的な視点から」多田(環境省・海洋環境室)
- ・ 16:25～16:50 「漂流漂着ゴミ対策—民間の役割、山形県の取り組み」金子(JEAN)
- ・ 16:50～17:15 「漂流漂着ゴミ対策—今後の研究の方向性」磯辺(愛媛大)
- ・ 17:15～17:35 総合討論

流量観測技術高度化小委員会報告

2013.10.4

□ 流量観測に関する勉強会

日時:2013年7月26日(金)13:00—17:00

場所:富山県民会館

参加者 51名

流量観測全般についての話題～国内外における話題～

魚野川観測の全体像・土研データの説明

ドップラー流況レーダによる洪水流量観測事例報告 魚野川、信濃川の例

統一された流速内外挿法に基づく様々な流速計測技術の流量推定精度

"ADCP搭載ボートによる定点および移動観測データの考察

～水深平均流速および摩擦速度の視点から～"

電波流速計による流速・流量推定精度

STIV法の様々な条件下における適用事例について

測線数の妥当性について

河川流量観測の高度化に対する観測実務者からの視点

信濃川下流域河道網における河道の相互作用について

石狩川での流量・濁質輸送量同時計測

萬矢敦啓

本永良樹

幸弘美

柏田仁

岡田将治

根岸大介

藤田一郎

中尾忠彦

橋場雅弘

星野剛

横山洋

□ 黒部川視察

7月27日(土)

参加者 43名

8:30

富山駅周辺で集合

9:30～12:30

黒部川河口～宇奈月ダム

13:00～14:00

宇奈月温泉or道の駅「うなづき」でランチ

15:00

富山駅

水理実験指導書改訂小委員会報告

2013.10.4 水工学委員会幹事会

・委員会構成

藤田一郎	神戸大学大学院工学研究科	市民工学専攻
神田佳一	明石工業高等専門学校	都市システム工学科
岡田将治	高知工業高等専門学校	環境都市デザイン工学科
宇野 宏司	神戸市立工業高等専門学校	都市工学科
三輪 浩	舞鶴工業高等専門学校	建設システム工学科
和田 清	岐阜工業高等専門学校	環境都市工学科
内田龍彦	中央大学研究開発機構	
山上路生	京都大学工学研究科	社会基盤工学専攻
椿 涼太	広島大学大学院	社会環境システム専攻

・第2回小委員会議事録

日時： 平成25年8月29日(木) 13:00-19:00

場所： 神戸大学C1-202

出席者： 藤田, 和田, 神田, 三輪, 山上, 椿, 岡田 の8名(欠席:内田)

1. 出版委員会の報告 (8/28, 藤田)

- 1) 出版までのスケジュールについての確認 平成26年7月に最終版原稿を完成させる

2. 全体構成(作成時のフォーマット)の確認

- 1) 本文はMS明朝, 10.5pt とする. 図番号はMSPゴシック, 9ptとする.
- 2) 英数字は半角でTimes New Roman を使用する.
- 3) 本文および図中の変数は斜体とし, 添字は斜体にしない. 例) B_1
- 4) 本文に使用する表現については, 下記の通りひらがなで統一する.
および, したがって, とくに, みる, また, できる, わかる, つくる 等
- 5) x)の後は全角で2マス下げて, 2段目はひとつ下げる.
例) x)□□……………
□……………
- 6) 旧版では, 式番号(1.1.1)の前に…………… をつけていたが, 新版ではつけない.
- 7) 旧版の図面の利用については, 出版社側で対応可能ということでしたので, そのまま, 使用する場合には特に新たにトレースなどする必要はなし. (藤田委員長が, 委員会後に出版社に確認済み)

・第2回小委員会議事録

3. 各担当の説明と修正箇所の確認

- 1) 各委員から担当箇所について説明を行い、修正箇所を確認した。
- 2) 巻頭(数ページ)に掲載するカラーページについて、各章で適当なものがあれば提案する。
- 3) 旧版の内容とほとんど変える必要がない場合でも、設問のなどを工夫する。

4. ウェブ利用の方法

データシートは解説書には掲載せず、専用ホームページからダウンロードができる形式にする。また、Excelファイルは実験データを入力すれば自動で計算、図化できるような形式にせず、実施例をPDFファイル等で掲載する。

5. 今後の予定

次回の開催：3月の水工学講演会(神戸大学)の際に開催を予定

水害対策小委員会

活動報告

2013年7月以降の活動

- 2013年7月： 小委員会Facebookページ及びHPの立ち上げ
2013年度第一回小委員会開催
水害発生時の水工学委員会対応マニュアル（案）の作成
山形水害調査団結成・活動のサポート
山口・島根水害調査団結成・活動のサポート
（河川財団への調査費申請）
- 2013年8月： 秋田・岩手水害調査団結成・活動のサポート
島根水害調査団結成・活動のサポート
テックフォーササポート研究者リストの作成
- 2013年9月： 京都・滋賀水害調査団結成・活動のサポート
調査団腕章の各支部配備

今後の活動（2013年度）

- 2013年10月： 山口・島根水害調査団報告会
- 2013年11月： 水害発生時の水工学委員会対応マニュアル（案）の完成
消防・レスキュー等との連携・交流
- 2014年3月： 河川災害シンポジウム開催
2013年度第二回小委員会開催

小委員会Facebookページ

facebook 友達、スポーツ等を検索 竹林 洋史 友達を検索 ホーム 設定

土木学会水工学委員会水害対策小委員会として、コメント、「いいね!」、投稿をしています — 竹林 洋史に切り替える

土木学会水工学委員会水害対策小委員会 タイムライン 最近 管理者用パネル Facebookページを宣伝

Japan Society of Civil Engineers
土木學會
水工学委員会
水害対策小委員会

土木学会水工学委員会水害対策小委員会
いいね! 159人・話題にしている人37人

ページ情報を更新 4 ✓ 「いいね!」しています * 159

土木学会 水害対策小委員会の設置について
●●●● 背景及び目的
●●●● 水害発生

団体
水害対策小委員会は、土木学会水工学委員会における水害調査活動の円滑化および水害研究の更なる発展のための活動を行っています。

基本データ 写真 ノート2 いいね!

- 「いいね!」の数：164
- 1日平均アクセス数：324
- 最高アクセス数：1377アクセス（山口・島根水害の赤松先生の解析結果）
- 取材対応数：13件

流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ

1. 開催主旨

流域管理と地域計画の連携方策に関する取り組みやその課題等を土木学会会員と行政で共有するとともに、これら課題等を背景として、実施する河川砂防技術研究開発公募の流域計画・流域管理課題分野に対しての理解を深める。

2. 開催日時、場所等

日時：平成25年12月16日（月）午後2時から2時間程度

場所：土木学会講堂（東京）

主催：流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会

共催：水工学委員会、土木計画学委員会

3. プログラム（案）

（1）全体概要、WS開催経緯

（2）連携方策に向けたとりくみ例（行政のニーズ、大学のシーズ）

（3）全体討議